

新潟県市長会
会長 二階堂 馨 様

拉致問題の解決に関する要望書

令和3年5月20日

救う会新潟

曾我さん母娘を救う会

大澤孝司さんと再会を果たす会

中村三奈子さんをさがす会

北朝鮮による拉致問題については、2002年に北朝鮮が初めて日本人を拉致した事実を認めて謝罪し、5人の拉致被害者の方々が帰国されてから19年目になりますが、現在まで、拉致被害者は1人も帰ってきておりません。政府が認定した拉致被害者は17人のうち、本県関係者が5人を占め、そのうち、横田めぐみさんや曾我ミヨシさんはいまだに帰国を果たせておりません。さらに、新潟県警が拉致の可能性を排除できない事案として捜査を行っている本県関係者は特定失踪者6人を含めて27人に上ります。

拉致問題を巡る日朝間の協議は、2014年に北朝鮮が拉致被害者等の調査を約束したストックホルム合意以降、何ら進展が見られておりません。膠着した状況が長期化する中、拉致問題への関心低下が懸念されています。また、拉致被害者やその御家族は高齢化しており、一刻の猶予もない状況にあります。

貴市長会におかれましては、下記を踏まえ問題解決に向けて一層のお力添えをいただきますとともに、政府の取組を後押ししていただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 県下各市において、市民から拉致問題への一層の関心と理解を深めていただけるよう、それぞれの取組を進めてください。

2. 県下各市が連携協調して、拉致問題の早期解決を訴えていくため、市長有志による「北朝鮮による拉致被害者を救出する新潟県市長の会（仮称）」の立ち上げを検討されるとともに、政府への要望を行ってください。